

平成27年度

さいたま知っ得予算

－ さいたま市の予算と財政状況 －



さいたま市の

- ・平成27年度予算
- ・財政状況

についてわかりやすく解説します！

■目次

【予算編】さいたま市の平成27年度予算 ～さいたま市のお金の使いみちは？～

- ・予算って何？ 2
- ・予算はどうやって決めるの？ 2
- ・会計には種類があるの？ 2
- ・収入と支出の内訳は？ 3
- ・さいたま市の予算を家計に例えると？ 6
- ・どのような事業に取り組むの？ 7

【財政状況編】さいたま市の財政状況 ～さいたま市のフトコロ事情は安心？～

- ・収入の状況は？ 8
- ・支出の状況は？ 9
- ・貯金の残高は？ 10
- ・市が借りているお金はいくらあるの？ 11
- ・さいたま市のフトコロ事情は安心？ 12
- ・フトコロの体力測定 12
- ・今後の財政見通し 12

●はじめに ～さいたま市の財政に興味ありませんか？～

「財政」や「予算」という言葉をきくと、「興味ない」、「なんだか難しそう」、「わかりにくそう」なんて感じていませんか？ でも予算は、市民の皆様へ納めていただいている税金の使いみちを示したものであり、市民生活に密接に関わっています。

本冊子「さいたま知っ得予算」は、財政に興味のない方でも「知って得する」内容を目指して作成しました。ぜひ手に取り、皆様の税金がどのように使われているのか、さいたま市の財政状況はどうなっているのかをお確かめください。

そして、これをきっかけに行政サービスの利用につなげていただいたり（知って得した！）、市政に一層の関心を持っていただき、市の課題を共に考え、市民の皆様と力を合わせてよりよいまちづくりを進めていくことができたら幸いです。

●「知っ得予算」の特徴と構成

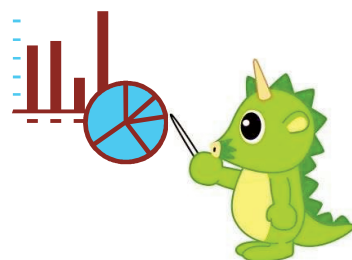
(1) 特徴

◇図やイラストを活用して解説

…「知っ得予算」は、法律で定める通常の予算書では伝わりにくい予算の具体的な内容を、図やイラストを活用して解説しています。

◇年度推移や他市との比較がグラフで一目瞭然！

…さいたま市の財政状況について、年度推移や他市との比較をグラフで示すことにより、現在のさいたま市の「位置」を客観的に理解しやすい内容になっています。



(2) 構成

「知っ得予算」は、大きく分けて「予算編」と「財政状況編」の2部構成となっています。平成27年度に取り組む事業の内容については「予算編」、皆様が納めていただく市税をはじめとした市の収入の状況や市が借りているお金などの財政状況については「財政状況編」をご覧ください。

P.2～7 予算編

さいたま市の平成27年度予算 ～さいたま市のお金の使いみちは？～



「予算ってそもそも何？」

P.2 ・予算って何、
・予算はどうやって決めるの？



「財政って難しそう、家計簿
みたいならいいのに」

P.6 ・さいたま市の予算を家計
に例えると？



「さいたま市はどんな事業
に取り組んでいるの？」

P.7 ・平成27年度はどのような
事業に取り組むの？

P.8～12 財政状況編

さいたま市の財政状況 ～さいたま市のフトコロ事情は安心？～



「さいたま市が借りているお金
はいくらくらい？」

P.11 ・市が借りているお金はいくら
あるの？



「さいたま市の財政状況は健全
なの？」

P.12 ・さいたま市のフトコロ事情は
安心？

1. さいたま市の平成27年度予算 ～さいたま市のお金の使いみちは？～

●予算って何？

…さいたま市の1年間の収入(歳入)と支出(歳出)の見積もりです。



予算を見れば、この1年間、どのくらいの収入が見込めて、何にいくら使うのかが分かります。私たちが納めている税金は、国、県、市の収入となり、さまざまな行政サービスに使われています。国や地方自治体は、新しい年度が始まる前に、あらかじめ税金などの収入と行政サービスに使う支出の金額を見積もって、事業の内容などを計画します。この見積もりが「予算」です。

※決算とは？ …さいたま市の1年間の収入(歳入)と支出(歳出)の実績を決算といいます。

●予算はどうやって決めるの？

…市長が予算案をつくり、議会の審議を経て決まります。



予算を決めるのは、私たち市民が選挙で選んだ市長と市議会議員です。市役所の税金を預かる部署などは、景気の動向などを踏まえて、翌年度の収入額を見積もります。また、事業を行う各部署は、市民からの意見や要望を聴き、地域の状況などを見ながら、「今、どのような行政サービスを行うべきか」「この地域で行うべき事業は何か」と、翌年度に行う事業の内容を検討します。

市長は、さいたま市総合振興計画などの市の計画をもとに、各部署で検討された案に私たちの生活の状況に合わせて新たな事業を加えたり、内容を見直す一方で、財源の確保も工夫しながら予算案をまとめ、市議会に提案します。

市議会では、市民の声を代表する市議会議員が、さまざまな議論を行いながら予算案を審議し、最終的に予算が決まります。

●会計には種類があるの？

…予算は、どの収入がどこに使われているのか、収入と支出の関係をはっきりさせるために、3つの会計(一般会計、特別会計、企業会計)に区分しています。

〈さいたま市の平成27年度の予算〉

全会計	9,008億円 (8,986億円)	前年度比 (0.2%増)	
一般会計	4,560億円 (4,649億円)	前年度比 (1.9%減)	教育、福祉、医療や道路・公園の整備など市の基本的なサービスを行う会計
特別会計	3,233億円 (3,153億円)	前年度比 (2.5%増)	国民健康保険や介護保険のように、対象者が限られるなど、一般会計と区別する必要がある事業の会計(16事業)
企業会計	1,215億円 (1,184億円)	前年度比 (2.6%増)	民間企業と同じように、事業収益でまかなわれている会計(水道、病院、下水道の3事業)

()内は前年度

※この他にも、自治体間の財政状況を比較するときに用いる「普通会計」とよばれる会計があります。(詳しくはP.8)

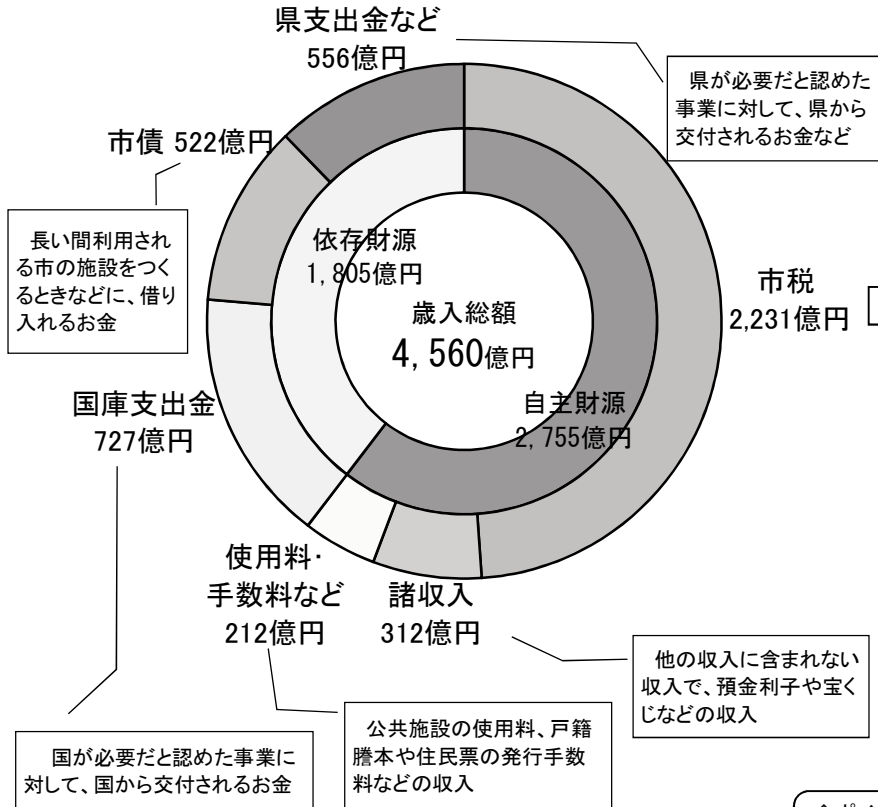
●収入(歳入)と支出(歳出)の内訳は？

(1) 一般会計の収入(歳入)

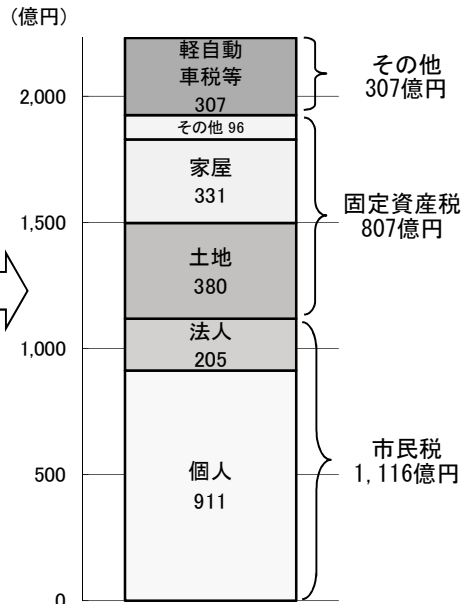
一般会計の収入(歳入)には、市税のほか、国や県から配られるお金や借入金(市債)など、さまざまなものがあります。これらの収入は、地方自治体が国や県に依存しないで自主的に収入できるかどうかで、「自主財源」と「依存財源」に分類することができます。

自主財源には、市税、使用料及び手数料などが、依存財源には、国庫支出金、市債、地方交付税などがあります。自主財源である市税などが多いほど、自主的な財政運営ができることになります。

■H27 さいたま市歳入の内訳



■市税の内訳



◇ポイント
さいたま市の歳入は、その約半分を市民の皆様の税金でまかなっており、市税の半分は市民税という構成になっています。

※区分ごとに四捨五入しているため、各数値の合計と総額は一致しない場合があります。

ちょっと一息

●宝くじは埼玉県内の売り場で！

埼玉県内で売れた宝くじの売り上げの一部は、さいたま市の収入となり、さまざまな事業に活用されています。

平成25年度宝くじ収入 36億9,669万円 (諸収入の約1割！)

さいたま市の宝くじ収益金は、少子化対策などに役立てています。

(2) 一般会計の支出(歳出)

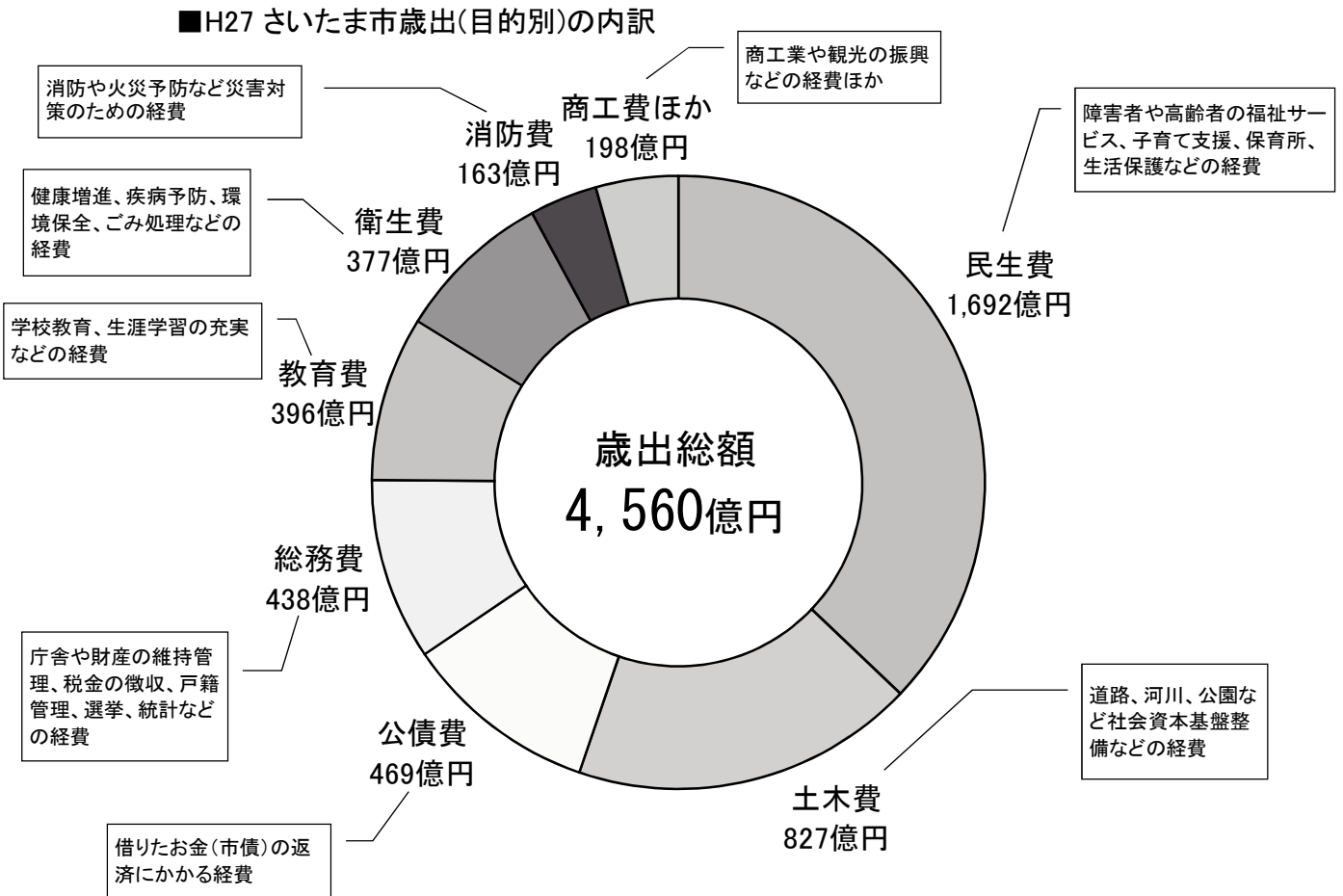
一般会計の支出(歳出)は、子育て、教育、商業振興など行政目的ごとの事業費を積み上げた「目的別歳出」と、人件費、扶助費、普通建設事業費など経費の性質ごとに分類した「性質別歳出」の2つの視点から見るができます。



「教育費はどのくらいかかっているんだろう？」というのは目的別歳出、「人件費はどのくらいかかっているんだろう？」というのは性質別歳出を見れば分かるんだ。

①目的別歳出

支出の内訳について、子育て、教育、商業振興など行政目的ごとにどれだけ使うのかを定めています。



◇ちなみに…

平成27年度の歳出総額4,560億円を市民1人あたりにすると、

361,652円 となっています。

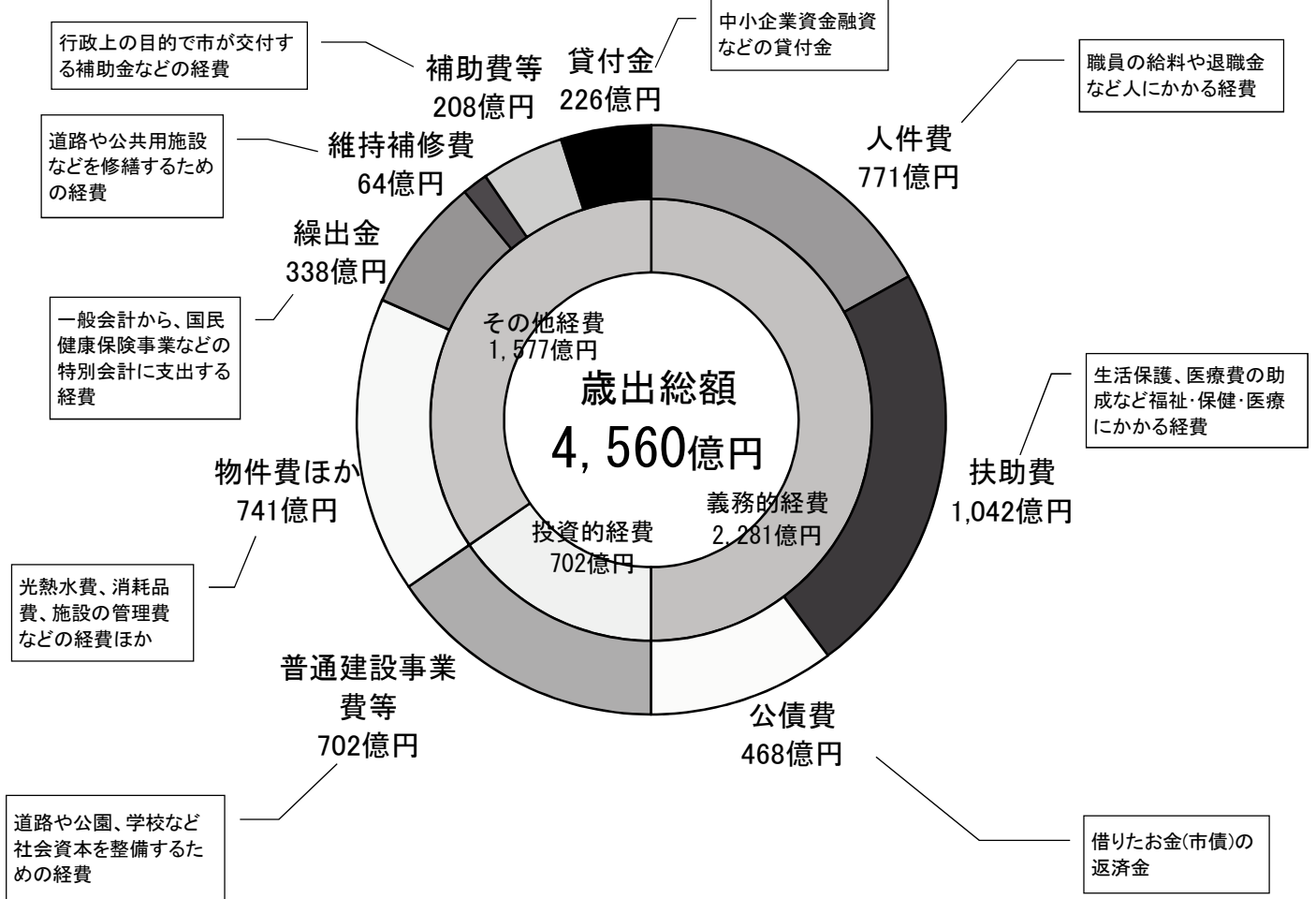
(※平成27年1月1日現在の住民基本台帳登録人口 1,260,879人で試算)

②性質別歳出

支出の内訳は、人件費、扶助費、普通建設事業費など、経費の性質ごとにどれだけ使うのかも見るができます。

このうち、人件費、扶助費、公債費の3つを合わせた経費を「義務的経費」（毎年必ず支出が必要となる固定的な経費）、また、道路、橋、公園、学校、公営住宅の建設など社会資本の整備に要する普通建設事業費等の経費を「投資的経費」とよんでいます。

■H27 さいたま市歳出(性質別)の内訳

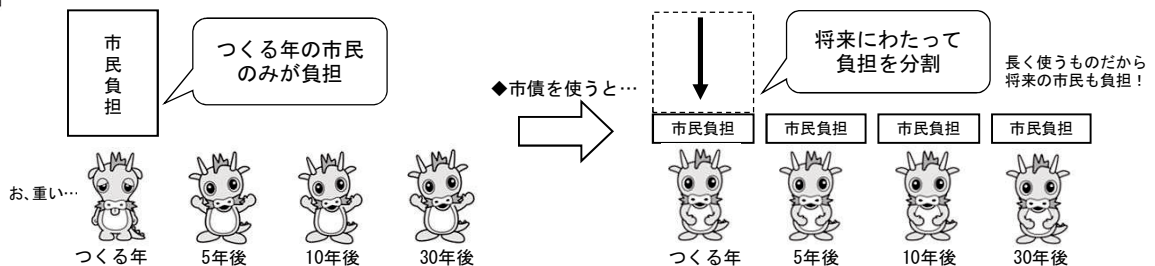


ちょっと一息

●どうしてお金を借りるの？



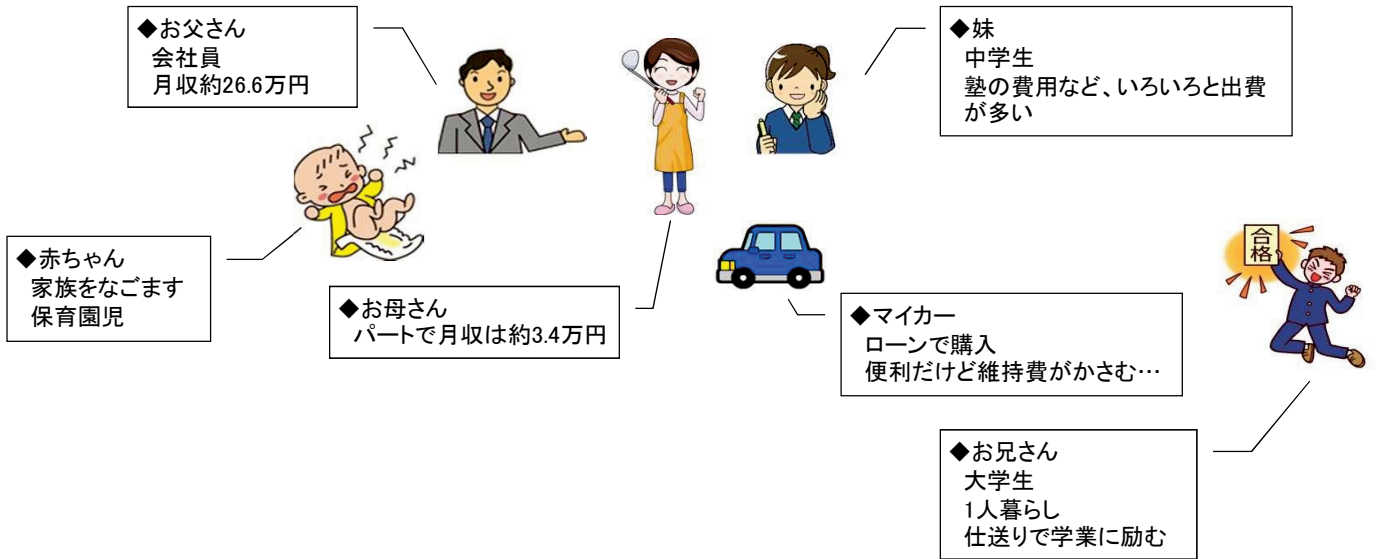
道路や学校などの施設は、つくる年だけでなく、将来にわたり次の世代の市民も使います。そのため、つくる年の市民だけに建設費を負担してもらうのではなく、次の世代の市民にも公平に負担してもらうため、借金をすることにより「分割払い」としています。



●さいたま市の予算を家計に例えると？

市の予算は数字が大きすぎて実感がわかないかもしれません。そこで、さいたま市の一般会計予算の総額を、給与所得者の平均給与である414万円（国税庁 平成25年分民間給与実態統計調査より）の家計に置き換えてみました。

食費（人件費）、家族の医療費（子育て支援医療費など扶助費）、ローン返済（公債費）の3つは義務的経費とよばれ、一般家庭のエンゲル係数（家計における食費の占める割合）と同様、これが高いと家計に余裕がないことを意味しています。（平成27年度の義務的経費の占める割合は、50.0%です）



《収入》			《支出》		
◆現金の収入	月額 ()内は年額	構成比	◆現金の支出	月額 ()内は年額	構成比
給料	265,900円 (320万円)	77.0%	食費 (人件費)	58,329円 (70万円)	16.9%
・本給 (市税) ・諸手当 (地方譲与税、地方交付税、 国・県支出金等)	168,793円 (203万円)	48.9%	家族の医療費・保育料 (扶助費)	78,858円 (95万円)	22.8%
	97,107円 (117万円)	28.1%	ローンの返済 (公債費)	35,421円 (43万円)	10.3%
パート収入 (使用料・手数料ほか)	33,517円 (40万円)	9.7%	光熱水費、衣料費など (物件費ほか)	70,199円 (84万円)	20.4%
貯金の取り崩しなど (繰入金)	6,113円 (7万円)	1.8%	子どもへの仕送り (繰出金)	25,588円 (30万円)	7.4%
			車の維持費 (維持補修費)	4,851円 (6万円)	1.4%
			貯金など (賞付金、積立金ほか)	18,661円 (22万円)	5.4%
◆1年間で組む予定のローン			◆今年予定している大きな支出		
家のリフォームをする ためのローン※ (市債)	39,470円 (47万円)	11.5%	家のリフォーム (普通建設事業費)	53,093円 (64万円)	15.4%
収入計	345,000円 (414万円)	-	支出計	345,000円 (414万円)	-

※ローン残高 … 413万円(市債残高4,548億円を換算)

●平成27年度はどのような事業に取り組むの？

平成27年度は、歳入予算では、個人市民税や固定資産税等、歳入の根幹をなす市税の増収が見込まれるものの、歳出予算では、社会保障関係経費等の増額により、収支不足が拡大する厳しい予算編成となりました。

このような中、総合振興計画の後期基本計画を推進するとともに、しあわせ実感都市を実現するための「しあわせ倍増プラン2013」と「選ばれる都市」を実現するための「さいたま市成長戦略」を着実に推進するため、次のような事業に取り組んでいくこととしました。

◇子育て支援、高齢者支援、教育の充実

特定教育・保育施設の整備

【予算 24億5,410万円】



保育所待機児童の解消を図るため、保育需要の高い地域において私立認可保育所・認定こども園を整備し、定員を拡大します。

アクティブチケットの交付事業

【予算 1,168万円】



シルバーポイント事業により、一定程度社会参加等をした高齢者及び75歳以上の高齢者を対象として、市内の公共施設等を無料または割引料金で利用できるアクティブチケットを交付します。

英語教育充実推進事業

【予算 1億8,357万円】



グローバル人材を育成するための新しい英語教育の実施に当たり、外国語指導助手の配置・教員研修の充実、英語カリキュラムの研究・開発を実施します。

◇防災、環境・エネルギー対策

(仮称)北袋1丁目防災公園整備事業

【予算 2億8,300万円】



さいたま新都心の広域防災・医療拠点を補完するオープンスペースを確保するとともに、市民の憩い、レクリエーションの場となる身近な公園を整備します。

次世代自動車・スマートエネルギー特区推進事業

【予算 1億4,243万円】



「暮らしやすく、活力のある都市として、継続的に成長する環境未来都市」の実現のため、総合特区制度を活用し、低炭素化とエネルギーセキュリティの確保を推進します。

◇健康増進・医療の充実

健幸サポート事業・健康マイレージ事業

【予算 3,168万円】



市民の継続的な健康づくりを支援するためのシステム導入に向けた健康サポートモデル事業の成果を踏まえ、健康マイレージの制度設計と協力企業・団体との協議を実施します。

市立病院施設整備事業

【予算 13億2,345万円】



市民に安心で、安定した医療の提供と、医療機能の強化を図るため、救命救急センター設置を含めた施設整備を実施します。

◇地域経済の活性化等

世界盆栽大会推進事業

【予算 2,293万円】



本市伝統産業の大宮盆栽及び観光資源である大宮盆栽村のPRを行うため、第8回世界盆栽大会(平成29年度開催)の準備活動を推進します。

自転車政策事業

【予算 5億6,475万円】



自転車に関する各施策を取りまとめた「自転車まちづくりアクションプラン」を策定し、安全で元氣な「さいたま自転車のまち構想」の実現に向けた取組を推進します。

公共施設マネジメント計画の推進

【予算 8,544万円】



公共施設の計画的な改修・建替えを行うとともに、与野本町小学校を核とした公共施設の複合化に向けた基本計画の策定を行います。また、新地方公会計制度への移行に向けた固定資産台帳を整備します。

さいたまシティマラソン事業

【予算 1億5,014万円】



市民マラソンにより健康増進を図るとともに、世界トップレベルの選手の走りを体感することで、市民のスポーツに対する意欲・関心を高め、「スポーツのまち さいたま」を国内外にアピールできる市民フルマラソン・国際女子マラソンを同時開催します。

このほかにもさまざまな事業に取り組んでいきます。
また、現場の声を政策に反映するために、市政の最前線である各区役所からの提案事業にも取り組んでいきます。



※平成27年度の主要な事業の概要及び予算の査定経過等については、市のホームページでも確認できます。
<http://www.city.saitama.jp/index.html> (トップページから、「市政情報」→「政策・財政」→「予算・決算」へとお進みください。)

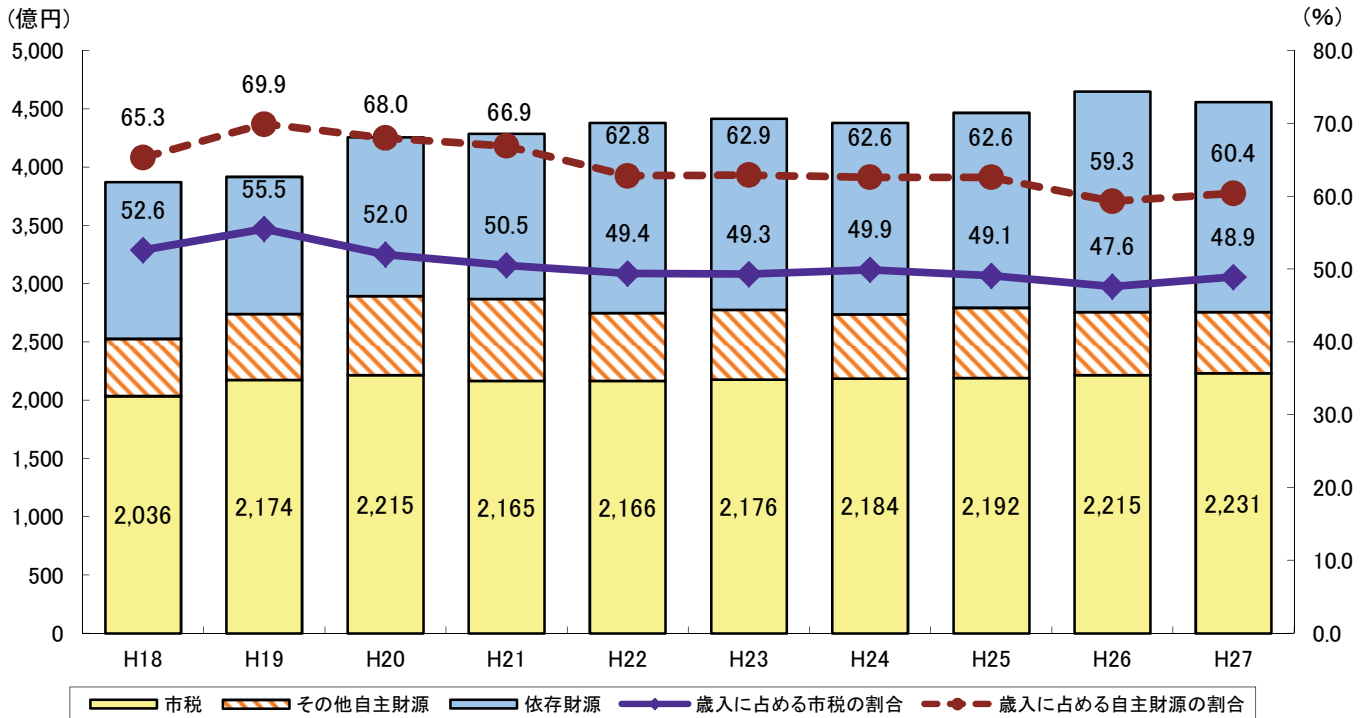
2. さいたま市の財政状況 ～さいたま市のフトコロ事情は安心？～

●収入の状況は？

収入(歳入)は、市税や使用料、手数料など地方自治体が国や県に依存しないで自主的に収入することができる「自主財源」と、国庫支出金、市債、地方交付税など自主的に収入できない「依存財源」に分類され、自主財源である市税などが多いほど、自主的な財政運営ができることになります。

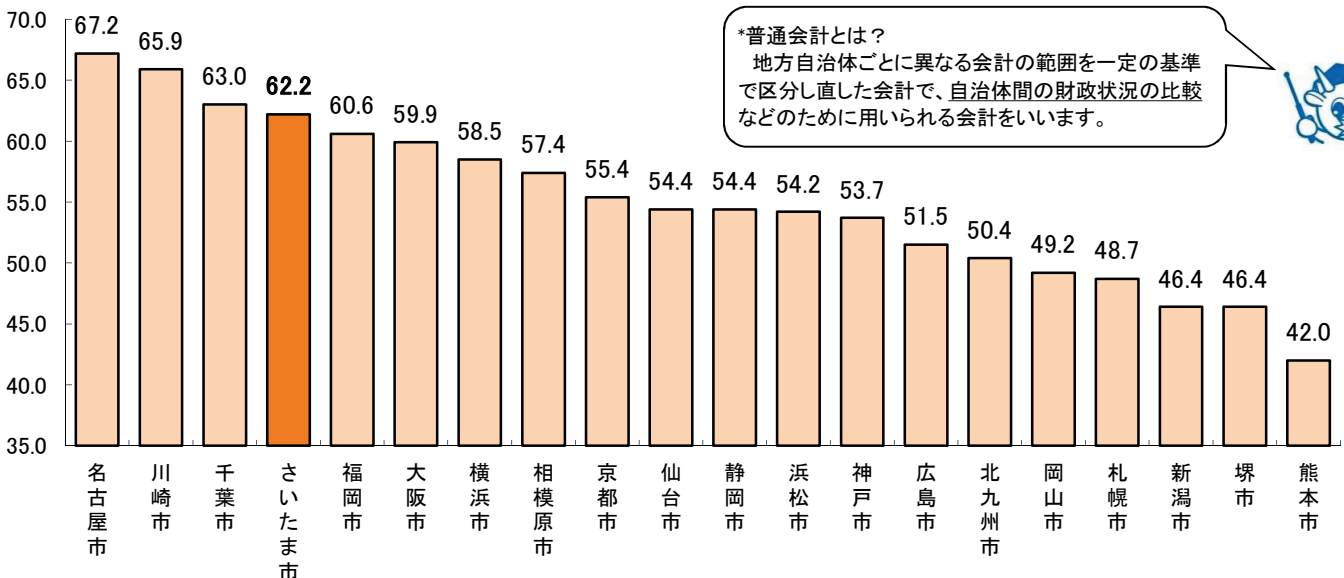
さいたま市の歳入の約半分を占める市税収入は、平成20年度までは増加傾向にありましたが、景気の悪化の影響による平成21年度の減収以降、低調に推移していました。平成27年度の市税収入は、個人市民税における納税義務者数の増加及び所得の伸びにより増収となる見込みです。

■自主財源の推移(～H25:決算額 H26～:当初予算額)



■政令指定都市の自主財源比率(歳入に占める自主財源の割合)の比較(H25:普通会計*)

(%) さいたま市は政令指定都市の中で4番目の水準にあり、比較的自主的な財政運営が可能といえます。

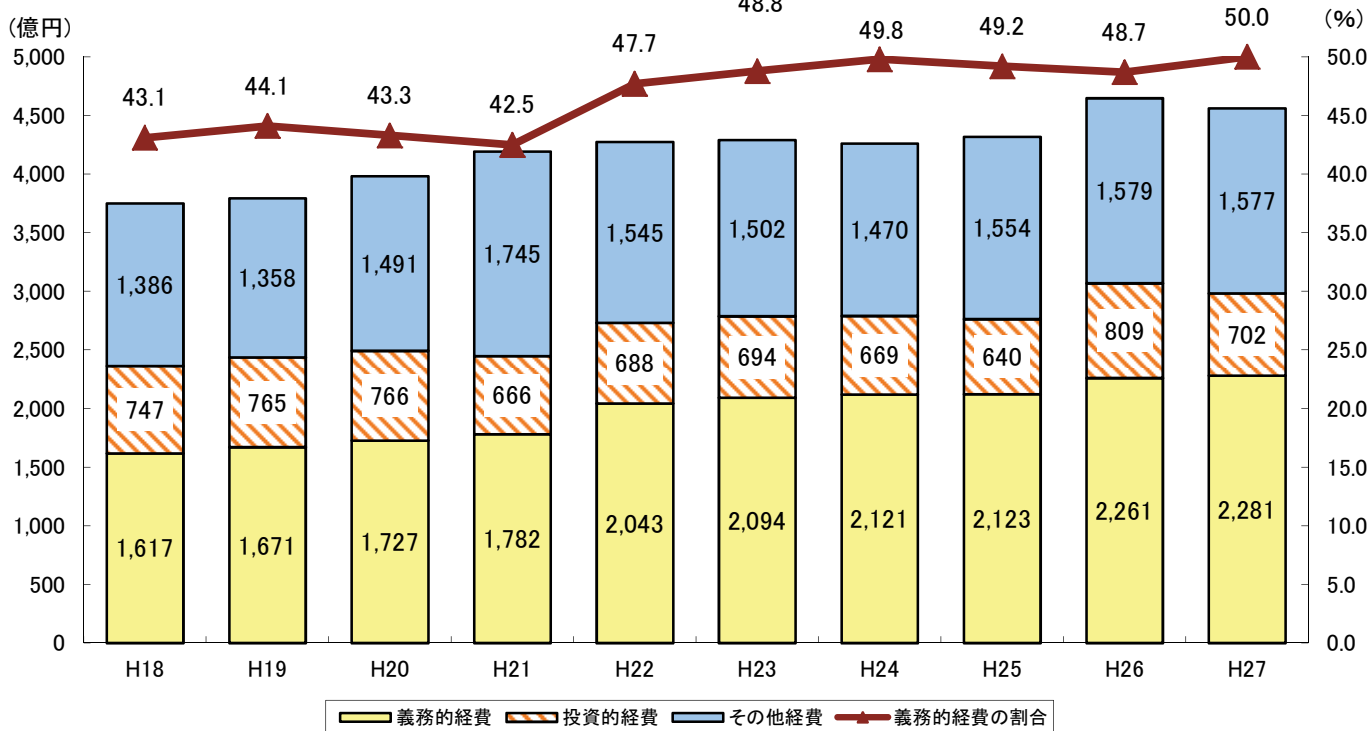


●支出の状況は？

支出(歳出)のうち、人件費・扶助費・公債費の3つを合わせた義務的経費が年々増加しています。特に扶助費については、少子高齢化に伴う福祉や医療にかかる費用の増加などの影響により大きく増えており、今後も増加傾向は続く見込みです。

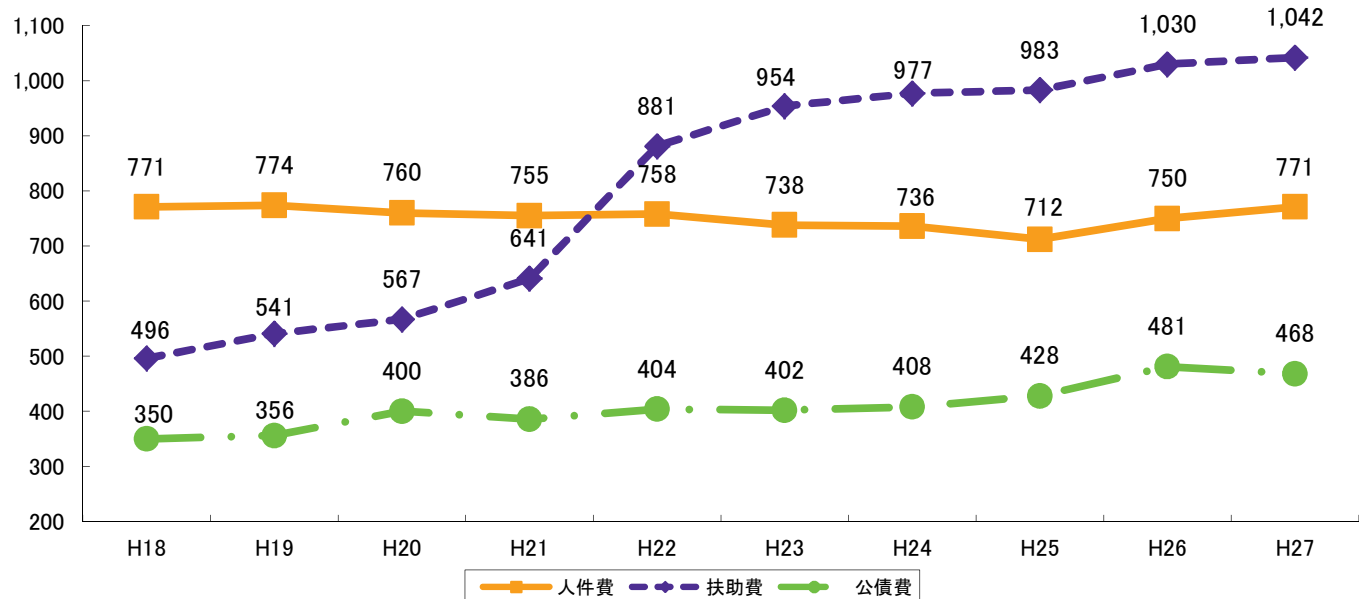
義務的経費は、収入が減ってもそれに合わせて簡単に減らせるものではありません。そのため、収入が増えない中で義務的経費が増えると、新しい事業への投資に使えるお金が少なくなります。

■性質別歳出の推移(～H25:決算額 H26～:当初予算額)



■義務的経費の推移(～H25:決算額 H26～:当初予算額)

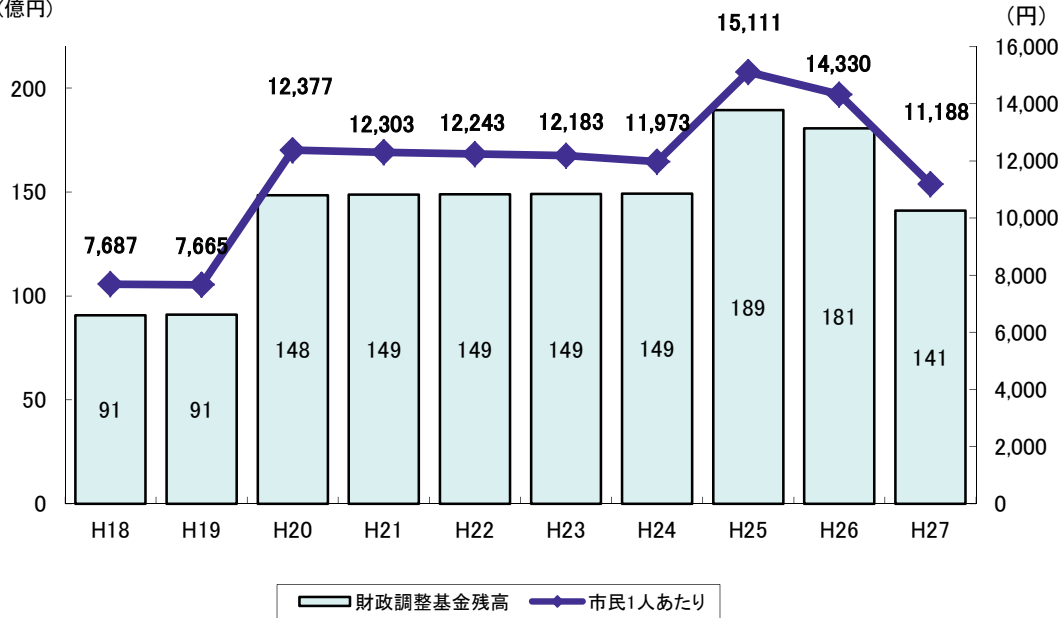
人件費や公債費は微増ないし横ばいで推移していますが、扶助費については年々増加しており、特に平成22年度以降は増加が著しく、今後も増加傾向は続く見込みです。



●貯金の残高は？

経済情勢の変動による財源不足や災害発生など緊急に支出が必要な場合に備え、貯金しています。

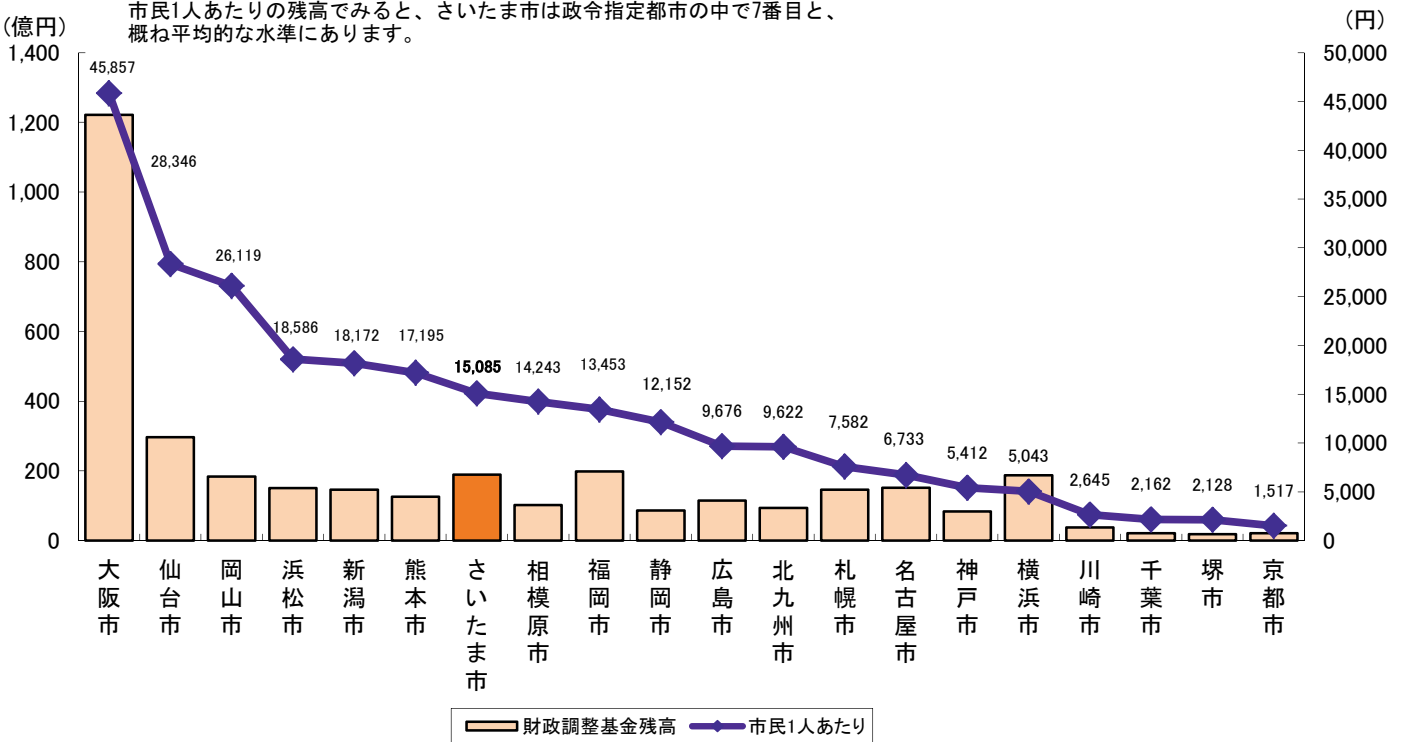
■貯金(財政調整基金*)年度末残高の推移(～H25:決算額 H26、27は見込み)
(億円)



※財政調整基金とは？
年度間の財源の不均衡などを調整するための基金です。財源に余裕のある場合や、決算剰余金が発生した場合に積み立てます。

■政令指定都市の財政調整基金残高の比較(H25:普通会計)

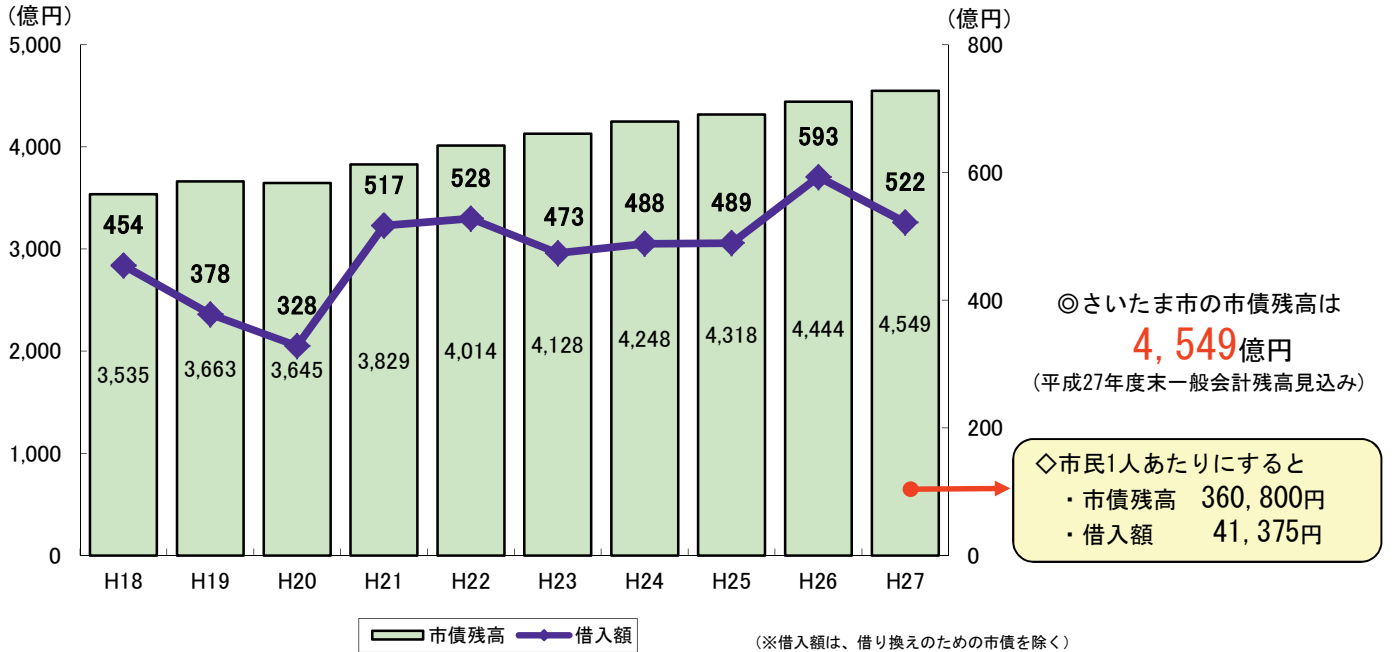
(億円) 市民1人あたりの残高で見ると、さいたま市は政令指定都市の中で7番目と、概ね平均的な水準にあります。



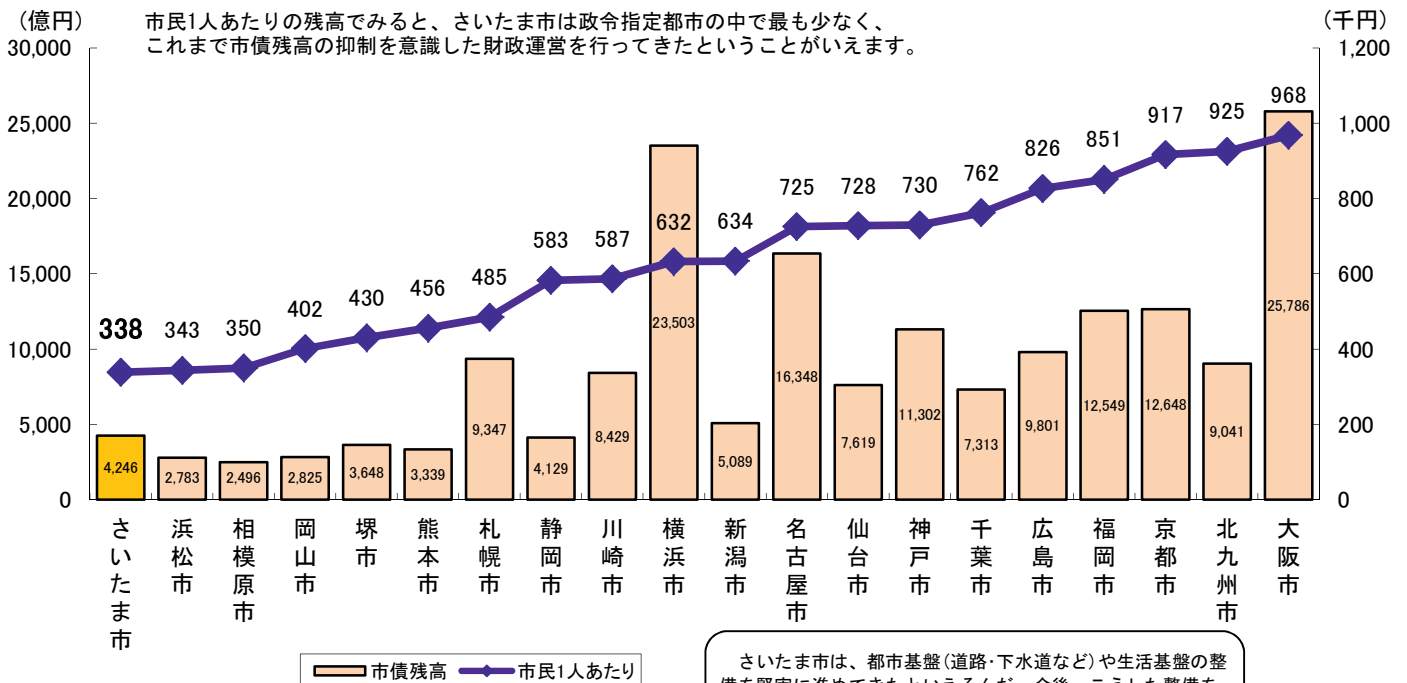
●市が借りているお金はいくらあるの？

さいたま市が借りているお金は4,549億円（市民1人あたりになると360,800円）となっています。

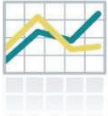
■市債残高及び借入額の推移（～H25:決算額 H26、27は見込み）



■政令指定都市の市債残高の比較（H25:普通会計）



●さいたま市のフトコロ事情は安心？



地方財政の財政悪化を背景に、「地方団体の財政の健全化に関する法律」が平成19年6月に成立しました。この法律は、地方自治体の財政状況を客観的な指標でチェックして、悪化している団体を確実に健全な状態にしておくことを目的とします。

さいたま市は、将来世代への責任を果たせる健全な財政運営の維持を図る取組をしてきたことにより、平成25年度決算に基づいて算出した健全化指標は、すべて国が定めた基準をクリアしており、健全であるといえます。

＜平成25年度決算に基づく財政健全化指標＞

指標		解説	さいたま市	早期健全化基準 ^{※1}	財政再生基準 ^{※2}
健全化判断比率	実質赤字比率	財政規模に対する一般会計等の赤字の割合	- (赤字なし)	11.25%	20%
	連結実質赤字比率	財政規模に対する全会計の赤字の割合	- (赤字なし)	16.25%	30%
	実質公債費比率	財政規模に対する1年間で支払った借入金返済額等の割合	5.5% (政令市中3位)	25%	35%
	将来負担比率	財政規模に対する将来市が支払う借入金返済額等の割合	25.7% (政令市中2位)	400%	
資金不足比率		公営企業ごとの事業規模に対する資金不足額の割合	-	20%	

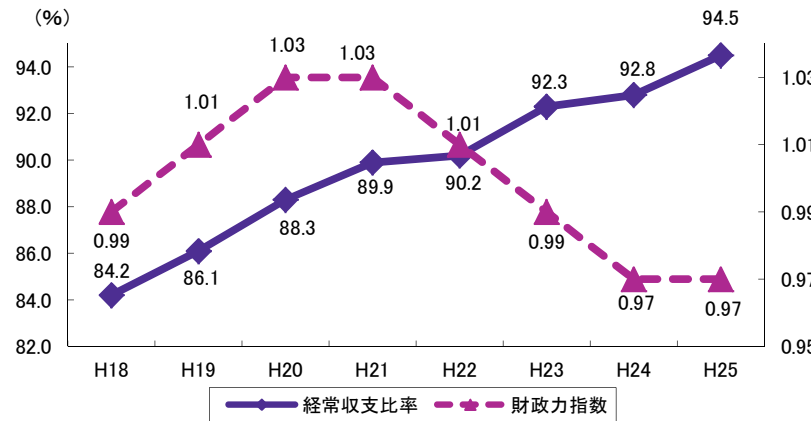


※1 この基準以上となった場合、自主的な改善努力を図るため、財政健全化計画を策定する。
 ※2 この基準以上となった場合、国の関与による確実な再生を図るため、財政再生計画を策定する。

＜比率の結果＞
 ◎ どちらも低い水準で健全です

●フトコロの体力測定 ～財政の健全性を測定～

■経常収支比率と財政力指数の推移(～H25:普通会計決算)



◎経常収支比率（市税などの継続的に見込める収入が、節約の難しい義務的な支出にあてられている割合）
94.5%（政令市20市中**9位**）

◎財政力指数（標準的な行政を行うためのお金を自らまかなえる割合）
0.97（政令市20市中**3位**）

政令市平均を40歳とすると、
さいたま市は40歳

※経常収支比率の政令市平均(94.6)を40歳、第1位の岡山市(87.5)を20歳として試算



●今後の財政見通し ～より安定的な財政へ向けて～

これまでさいたま市は、歳出削減への積極的な取組や、安定した市税収入を確保することなどにより、他市に比べ堅実な財政運営を行ってきました。

しかしながら、個人市民税では転入等により納税義務者の増、固定資産税では家屋の新増改築等により増収が見込まれるものの、支出では福祉や医療など義務的な経費が増加傾向にあります。



■安定的な財政を維持するためには何が必要？

より少ない予算でより大きな効果を上げられるよう、事業のやり方を見直すことなどが重要です。

さいたま市では、行財政改革の理念やこれまでの成果を踏まえ、将来にわたっても安定的な財政を維持していくよう行財政改革に取り組んでいます。

◇もっと詳しく知りたい方は、次の冊子やホームページもご覧ください。

(冊子は区役所の情報公開コーナーで閲覧することができます)

●【予算案の概要】

予算案を発表したときの資料です。

●【さいたま市の財政状況】

予算執行状況や財産状況など市の財政状況を市民の皆様にお伝えする冊子です。毎年6月と12月の年2回発行しています。

※これらの冊子は、ホームページでもご覧になれます。 <http://www.city.saitama.jp/index.html>

(さいたま市役所のトップページから、「市政情報」→「政策・財政」→「予算・決算」または「財政状況」へとお進みください)

この冊子は300部作成し、1部当たりの印刷経費は41円（概算）です。

【さいたま知っ得予算（平成27年度）】

平成27年4月

編集発行 / さいたま市財政局財政部財政課

TEL 048-829-1153~1155